

全日本空輸株式会社

2011年3月期 第1四半期決算説明会



専務取締役
日出間 公敬

2010年7月30日

目次

I. 2011年3月期 第1四半期決算

業績ハイライト	P.4
連結決算概要(経営成績)	P.5
連結決算概要(財政状態)	P.6
連結決算概要(キャッシュフロー)	P.7
連結決算概要(セグメント別実績)	P.8
航空運送事業(収入・費用)	P.9
航空運送事業(営業利益増減要因)	P.10
航空運送事業(国内旅客事業)	P.11-12
航空運送事業(国際旅客事業)	P.13-14
航空運送事業(貨物事業)	P.15-17
【参考】第2四半期輸送動向について	P.19
【参考】燃油・為替	P.20

II. 補足資料

国際旅客方面別実績	P.23
国際貨物方面別実績	P.24
運用航空機数	P.25

免責事項

当資料は、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社の主要事業である航空運送事業には、空港使用料、燃料費等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証しているものではありません。

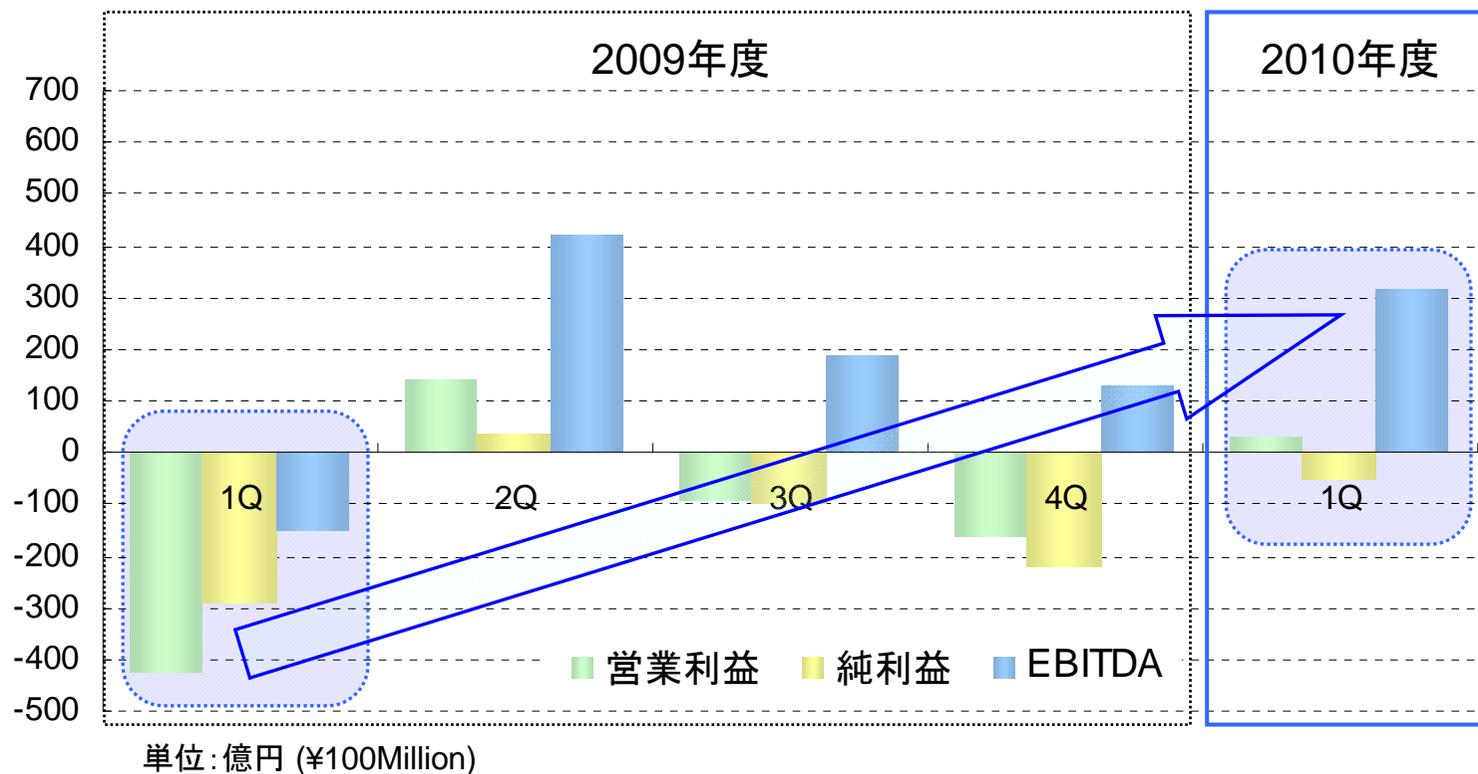
I . 2011年3月期 第1四半期決算



業績ハイライト

当第1四半期と前年度各四半期の業績比較

- 第1四半期の連結営業利益は、29億円(前年同期比で453億円の改善)。
- 当期純損失は、52億円(同239億円の改善)、EBITDAは314億円(同463億円の改善)を計上。
- 各指標とも前年同期比で大きく改善するとともに、シーズンリティに応じた直前期(前年度第4四半期)からの業績の伸びも順調。



連結決算概要

経営成績

	前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年差 Change
営業収入 Operating Revenues	2,698	3,068	+ 369
営業費用 Operating Expenses	3,123	3,038	△ 84
営業利益 Operating Income	△ 424	29	+ 453
営業利益率 Op. Margin (%)	-	1.0	-
営業外損益 Non-Op. Gains/Losses	△ 70	△ 59	+ 10
経常利益 Recurring Income	△ 494	△ 29	+ 464
特別損益 Extraordinary Gains/Losses	14	△ 23	△ 37
当期純利益 Net Income	△ 292	△ 52	+ 239

単位：億円 (¥100Million)

連結決算概要

財政状態

	前期末 Mar 31, 2010	第1四半期末 Jun 30, 2010	前年差 Change
総資産 Assets	18,590	19,762	+ 1,171
自己資本 Shareholders' Equity	4,735	4,552	△ 183
自己資本比率 Ratio of Shareholders' Equity (%)	25.5	23.0	△ 2.4
有利子負債残高 Interest Bearing Debts	9,416	10,336	+ 919
D/Eレシオ(倍) Debt/Equity Ratio (times)	2.0	2.3	+ 0.3

単位: 億円 (¥100Million)

注記: オフバランスリース債務額1,802億円(前年度末1,835億円)を含むD/Eレシオは2.7倍(前年度末2.4倍)となります。

連結決算概要

キャッシュフロー

	前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年差 Change
営業キャッシュフロー Cash Flow from Operating Activities	△ 85	394	+ 480
投資キャッシュフロー Cash Flow from Investing Activities	△ 888	△ 892	△ 4
財務キャッシュフロー Cash Flow from Financing Activities	960	872	△ 88
現金及び現金同等物の増減額 Net Increase or Decrease	△ 13	373	+ 386
現金及び現金同等物の期首残高 Cash and Cash Equivalent at the beginning	1,434	1,481	+ 373
現金及び現金同等物の期末残高 Cash and Cash Equivalent at the end	1,420	1,855	
減価償却費 Depreciation and Amortization	275	284	+ 9
設備投資額 Capital Expenditures	916	481	△ 435
EBITDA (*)	△ 148	314	+ 463
EBITDAマージン EBITDA Margin(%)	-	10.3	-

* EBITDA: 営業利益+減価償却費

単位: 億円 (¥100Million)

連結決算概要

セグメント別実績

		前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年差 Change
売上高 Revenues	航空運送 Air Transportation	2,368	2,745	+ 377
	旅行 Travel	336	327	△ 9
	その他 Others	338	341	+ 2
	消去 Eliminations	△ 344	△ 345	△ 1
	合計(連結) Total	2,698	3,068	+ 369
営業利益 Operating Income	航空運送 Air Transportation	△ 415	11	+ 426
	旅行 Travel	△ 12	6	+ 18
	その他 Others	1	10	+ 9
	消去 Eliminations	1	0	△ 1
	合計(連結) Total	△ 424	29	+ 453

単位: 億円 (¥100Million)

航空運送事業

航空運送事業 収入・費用

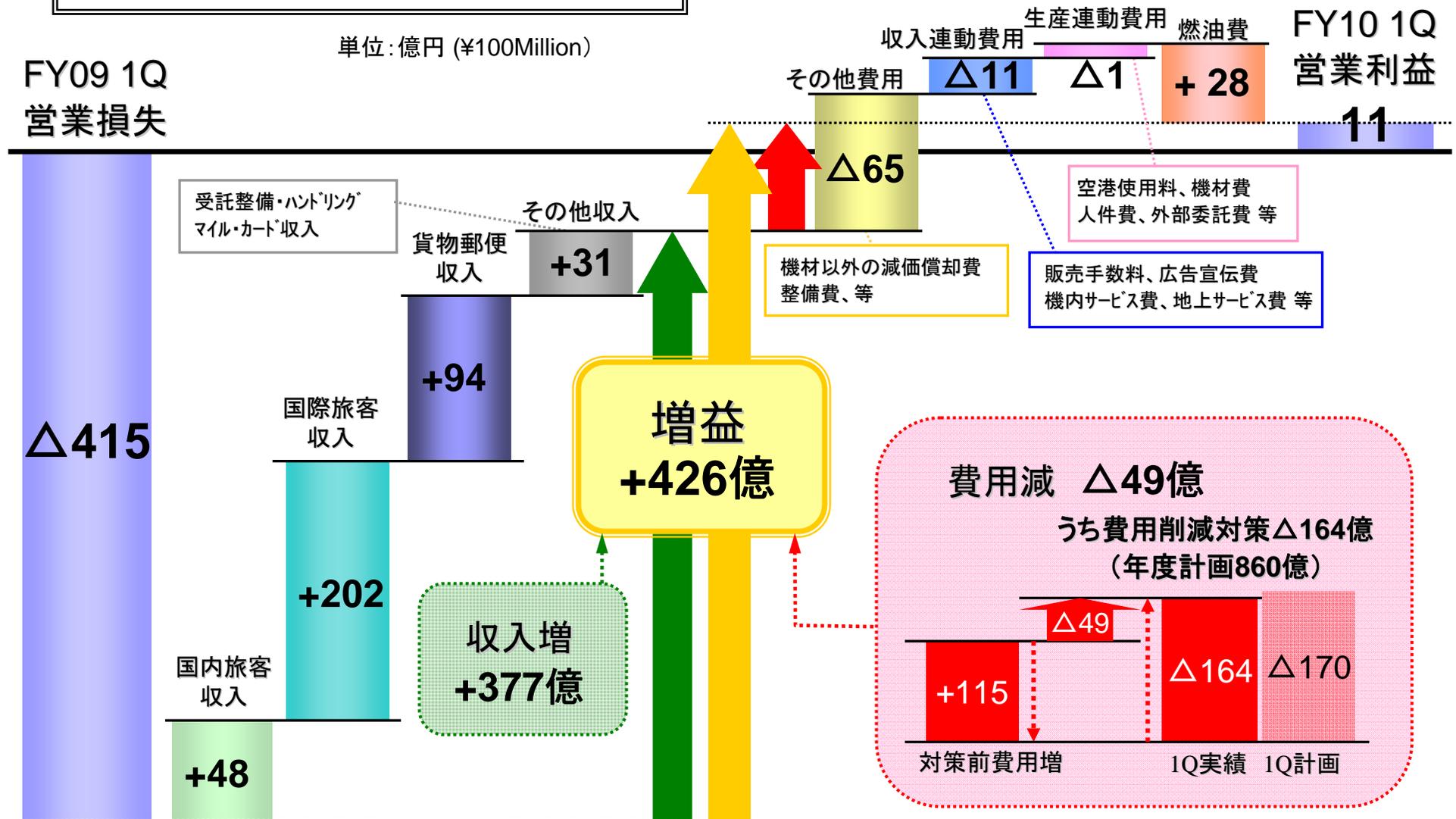
		前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年差 Change
営業収入 Operating Revenues	国内線旅客 Domestic Passengers	1,386	1,435	+ 48
	国際線旅客 International Passengers	438	641	+ 202
	貨物郵便 Cargo and Mail	197	291	+ 94
	その他 Others	345	377	+ 31
	合計 Total	2,368	2,745	+ 377
営業費用 Operating Expenses	燃油費及び、燃料税 Fuel and Fuel Tax	584	612	+ 28
	空港使用料 Landing and Navigation Fees	235	225	△ 10
	航空機材賃借費 Aircraft Leasing Fees	142	157	+ 14
	減価償却費 Depreciation and Amortization	269	279	+ 10
	整備部品・外注費 Aircraft Maintenance	147	90	△ 56
	人件費 Personnel	582	567	△ 14
	販売費 Sales Commission and Promotion	159	155	△ 4
	外部委託費 Contracts	191	200	+ 9
	その他 Others	470	444	△ 26
合計 Total	2,783	2,733	△ 49	
営業利益	営業利益 Operating Income	△ 415	11	+ 426

航空運送事業

航空運送事業(営業利益増減要因)

単位: 億円 (¥100Million)

FY09 1Q
営業損失



航空運送事業

国内旅客事業(実績)

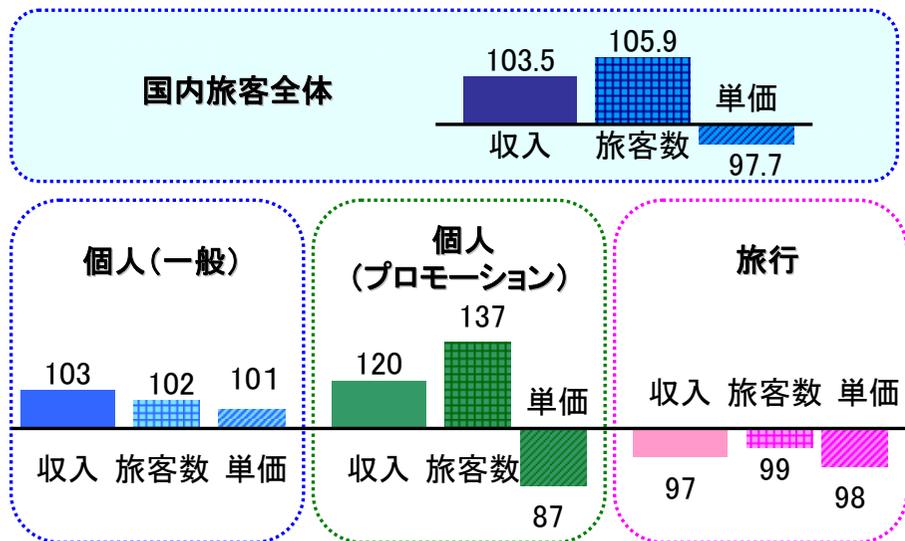
	前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年比 % Y/Y
旅客数(千人) Passengers (thousands)	9,030	9,566	105.9
座席キロ(百万) Available Seat Km (million)	14,318	13,616	95.1
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (million)	7,948	8,398	105.7
座席利用率(%) Load Factor (%)	55.5	61.7	+ 6.2
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100million)	1,386	1,435	103.5
ユニットレヴェニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	9.7	10.5	108.9
イールド(円) Yield (¥/RPK)	17.4	17.1	98.0
単価(円) Unit Price (¥/Passenger)	15,351	15,003	97.7

航空運送事業

国内旅客事業(事業動向)

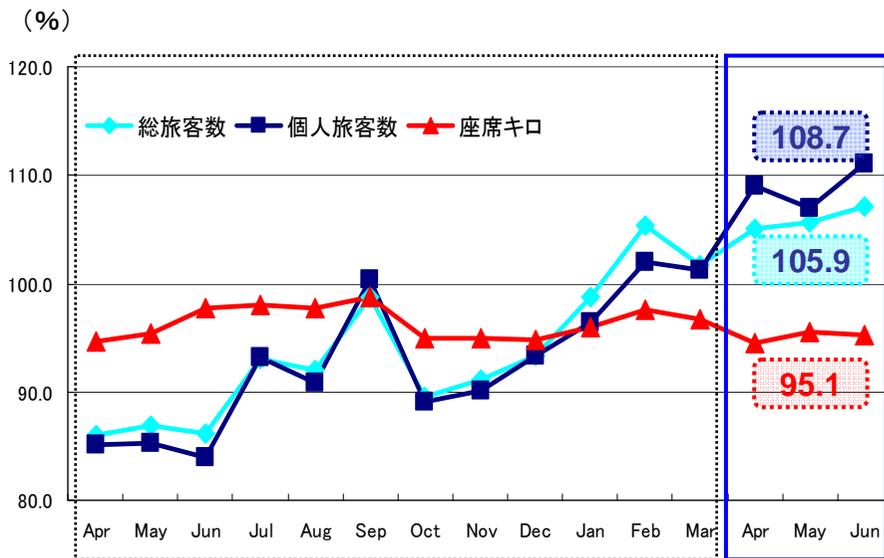
第1四半期 客体別収入・旅客数・単価

✓個人旅客数が堅調に回復、旅行旅客数は前年比微減



月次旅客数・座席キロ 対前年同月比

✓座キロ減少の中で、旅客数の回復基調が継続



当四半期 トピックス:

- 4/1~「旅作*(ANAセールス)」、4/6~「ANA楽パック*(楽天ANAトラベルオンライン)」: 販売期間を出発3日前まで拡大し、出発直前の旅行需要に対応(*インターネットを活用して航空券と宿泊施設を自由に組み合わせることが可能な旅行商品)
- ANA My Choice スターバックスコーヒーとの提携: 4/14~国内線機内においてスターバックス社製スティックコーヒー提供開始
- 6/30 (株)エア・ニッポン・エアーク、エア・ネクスト(株)、エア・セントラル(株)の連結子会社3社の10/1付け合併を発表。新会社はANAウイングス(株)。

航空運送事業

国際旅客事業(実績)

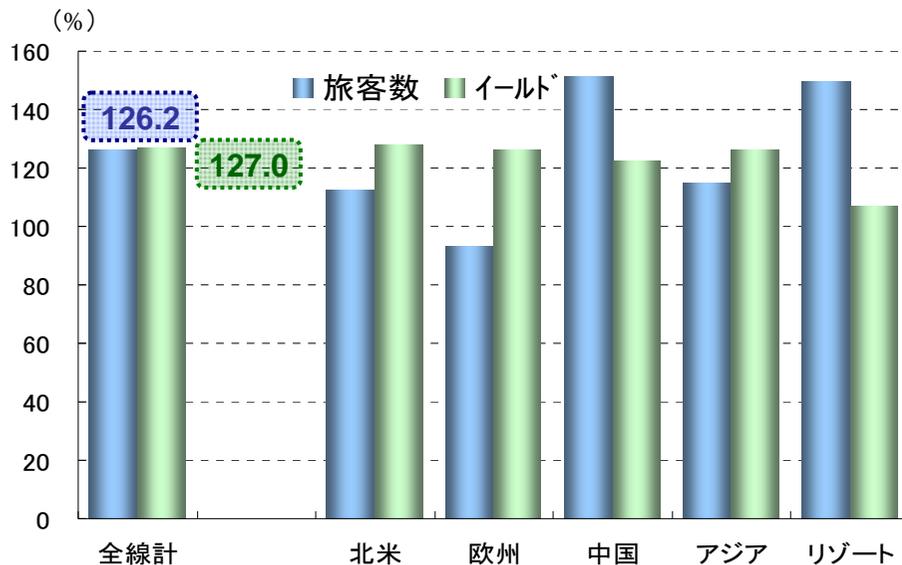
	前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年比 % Y/Y
旅客数(千人) Passengers (thousands)	970	1,224	126.2
座席キロ(百万) Available Seat Km (million)	6,670	6,656	99.8
旅客キロ(百万) Revenue Passenger Km (million)	4,446	5,121	115.2
座席利用率(%) Load Factor (%)	66.7	76.9	+ 10.3
旅客収入(億円) Passenger Revenues (¥100million)	438	641	146.2
ユニットレヴェニュー(円) Unit Revenue (¥/ASK)	6.6	9.6	146.6
イールド(円) Yield (¥/RPK)	9.9	12.5	127.0
単価(円) Unit Price (¥/Passenger)	45,223	52,412	115.9

航空運送事業

国際旅客事業(事業動向)

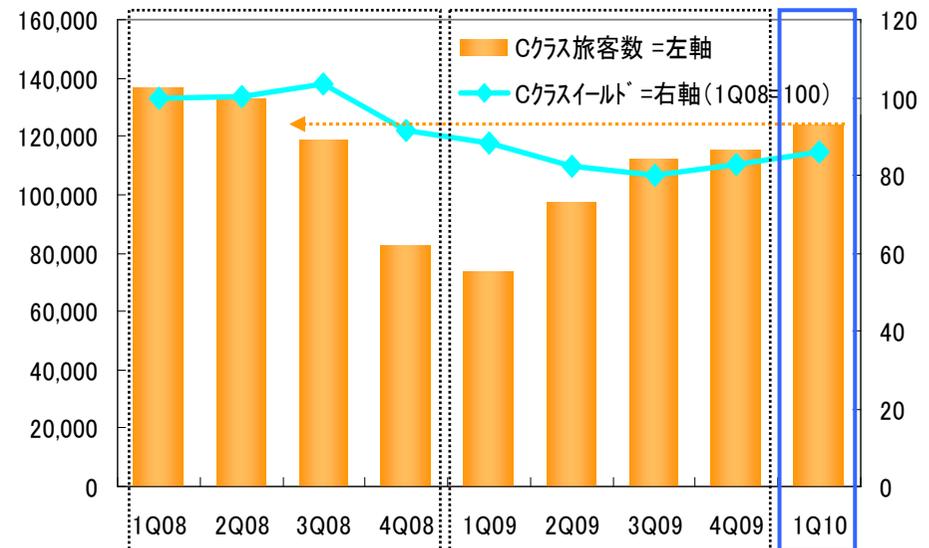
第1四半期 方面別旅客数・イールド前年比

✓各方面堅調な需要の中、イールド回復も本格化



各四半期 ビジネスクラス旅客数・イールド推移

✓ビジネス需要の回復、イールド改善基調も継続



当四半期 トピックス:

- 4/1以降に適用される燃油特別付加運賃を、2~3月と同一水準にて継続設定(例:日本=欧米路線の場合、片道10,500円)
- 4/1日本出発分から適用されるIATA国際航空運賃を改訂。北米・ハワイ・アジアは据置き、欧州方面は104~114%の値上げ。
- 新プロダクト・サービスブランド Inspiration of Japan スタート(B777-300ER新機材 4/19ニューヨーク、6/1フランクフルト就航)
- 5/13にTAM航空(ブラジル)、6/30にエーゲ航空(ギリシャ)がスターアライアンス加盟し、加盟航空会社数は28社。



航空運送事業

国内貨物事業(実績)		前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年比 % Y/Y
国内貨物 Domestic Cargo	貨物収入(億円) Cargo Revenues (¥100mil)	76	75	99.0
	有効貨物トンキロ(百万トンキロ) Available Ton Km (million)	463	450	97.2
	有償貨物トンキロ(百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	108	104	95.6
	貨物輸送重量(千トン) Revenue Ton (thousand tons)	109	103	94.9
	貨物重量利用率(%) Load Factor (%)	23.5	23.1	△ 0.4
	ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ATK)	16.5	16.8	101.8
	重量あたり単価(円/kg) Unit Price (¥/kg)	70	73	104.3
【参考:上記内数】 国内フレイター Domestic Freighter	貨物収入(億円) Cargo Revenues (¥100mil)	4	4	97.6
	有効貨物トンキロ(百万トンキロ) Available Ton Km (million)	10	9	89.3
	有償貨物トンキロ(百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	2	2	101.5
	貨物輸送重量(千トン) Revenue Ton (thousand tons)	3	2	91.4
	貨物重量利用率(%) Load Factor (%)	27.6	31.4	+ 3.8
	ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ATK)	40.1	43.9	109.3
	重量あたり単価(円/kg) Unit Price (¥/kg)	137	147	106.8



航空運送事業

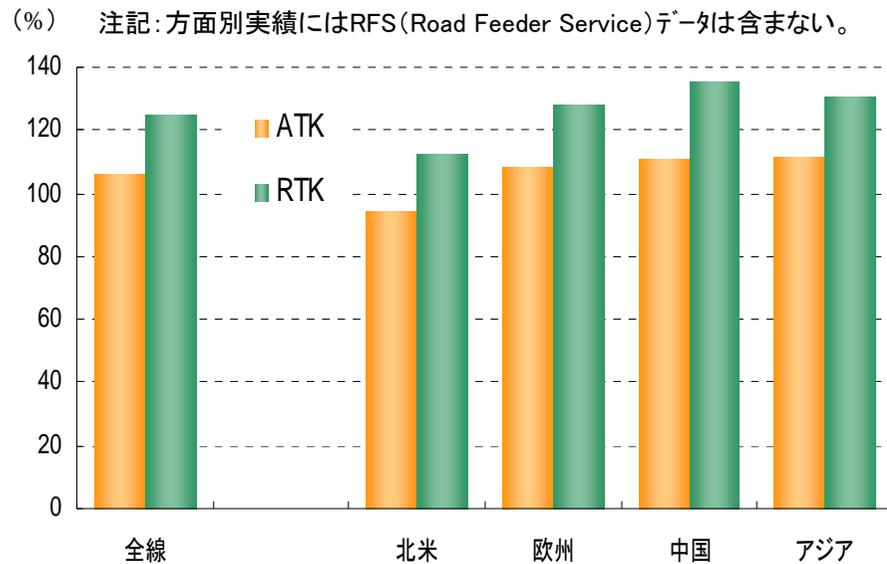
国際貨物事業(実績)		前年同期 1Q/FY09	第1四半期 1Q/FY10	前年比 % Y/Y
国際貨物 International Cargo	貨物収入(億円) Cargo Revenues (¥100mil)	102	200	194.5
	有効貨物トンキロ(百万トンキロ) Available Ton Km (million)	658	698	106.1
	有償貨物トンキロ(百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	388	485	124.9
	貨物輸送重量(千トン) Revenue Ton (thousand tons)	86	132	152.3
	貨物重量利用率(%) Load Factor (%)	59.0	69.5	+ 10.5
	ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ATK)	15.6	28.7	183.3
	重量あたり単価(円/kg) Unit Price (¥/kg)	118	151	127.7
	【参考:上記内数】			
国際フレイター International Freighter	貨物収入(億円) Cargo Revenues (¥100mil)	28	73	259.3
	有効貨物トンキロ(百万トンキロ) Available Ton Km (million)	132	181	136.8
	有償貨物トンキロ(百万トンキロ) Revenue Ton Km (million)	67	116	172.9
	貨物輸送重量(千トン) Revenue Ton (thousand tons)	28	70	244.9
	貨物重量利用率(%) Load Factor (%)	50.9	64.4	+ 13.4
	ユニットレベニュー(円) Unit Revenue (¥/ATK)	21.3	40.4	189.5
	重量あたり単価(円/kg) Unit Price (¥/kg)	98	104	105.9

航空運送事業

国際貨物事業(事業動向)

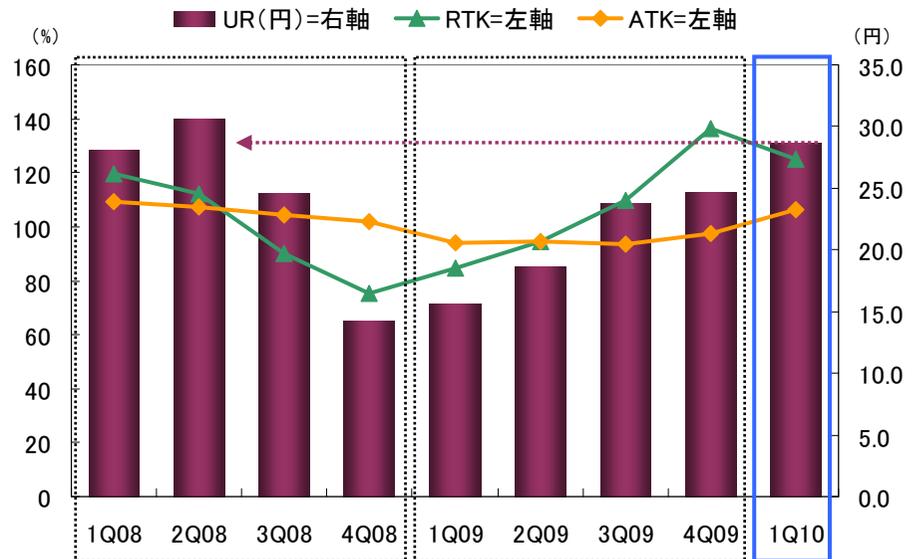
第1四半期 国際貨物ATK・RTK前年比

✓各方面とも輸送量が堅調に伸び、ロードファクターも改善



各四半期 ATK・RTK・ユニットレベニュー

✓ユニットレベニューがリセッション前の水準に回復



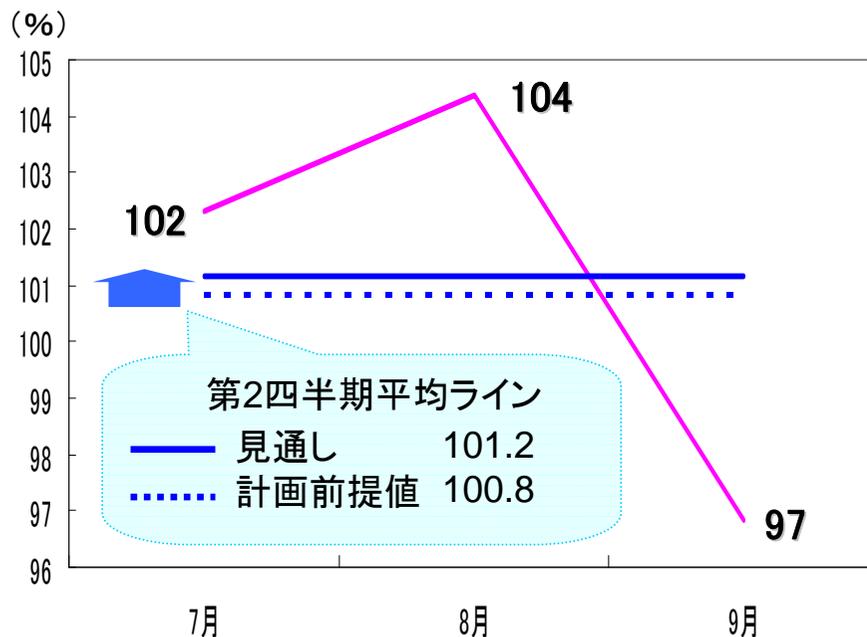
当四半期 トピックス:
 → 燃油特別付加運賃改定
 4月: 引き下げ(例: 欧米・中東路線 75円→69円/kg)、5月: 引き上げ(同75円/kg)、6月: 引き上げ(同81円/kg)

Intentionally Blank

【参考】 第2四半期輸送動向について

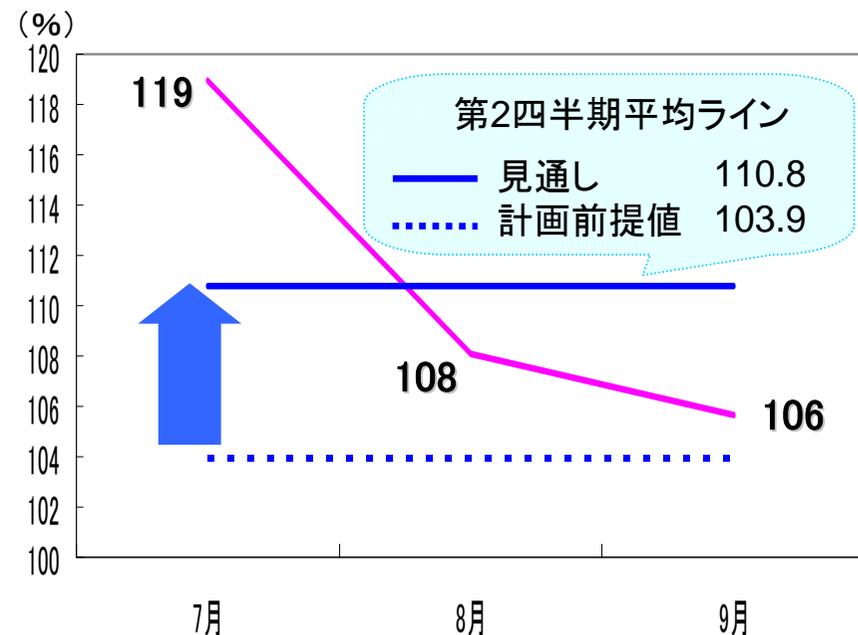
第2四半期の見通し

国内線旅客数(前年同月比)



- 9月は前年のシルバーウィーク需要の反動により前年割れとなる見通しだが、7月、8月の需要は堅調に推移。
- 第2四半期平均では、計画前提値を上回る旅客数となる見通し。

国際線旅客数(前年同月比)



- 引き続き需要水準は堅調。第2四半期平均で、前年同期比約10%の旅客数の伸びを見込む。
- 第2四半期の計画前提値に対しても、現状の旅客数見通しは大きく上回る見込み。

【参考】 燃油・為替

燃油・為替

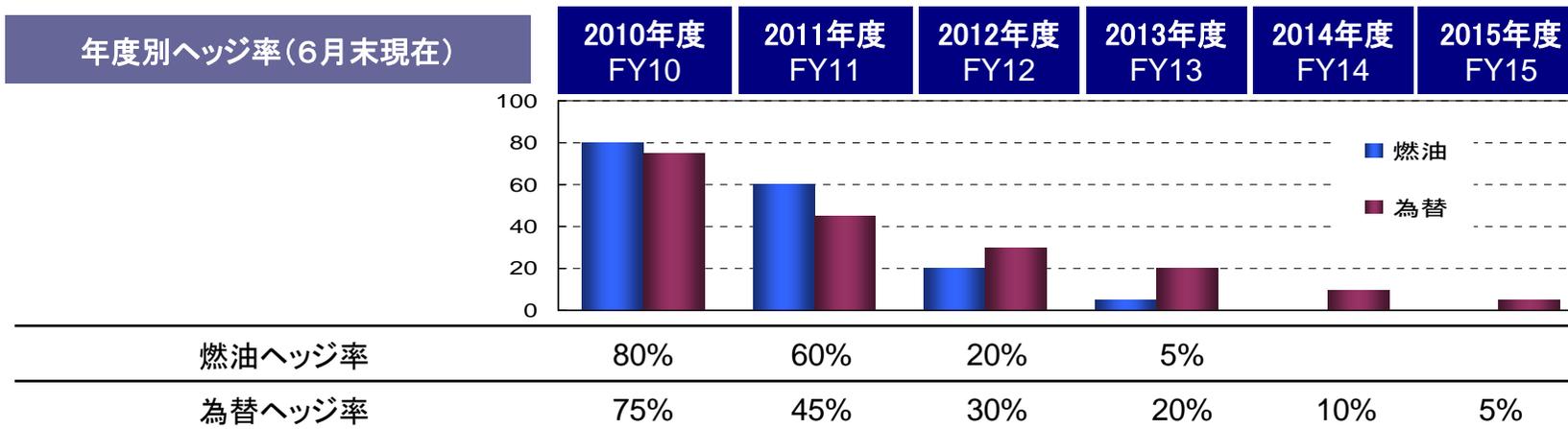
実績と計画前提値	2010年度 FY10(E)	2011年度 FY11(E)
ドバイ原油 Dubai Crude Oil (USD/BBL)	75*	80
シンガポールケロシン Kerosene (USD/BBL)	85*	90
為替レート Exchange Rate (JPY/USD)	95	95

燃油費への感応度 (ヘッジしない場合)

原油 (1ドル/バレルの変動)	19億円/年
為替 (1円/USDの変動)	18億円/年

*2010年度 ドバイ原油: 上期\$70/下期\$80 シンガポールケロシン: 上期\$80/下期\$90

年度別ヘッジ率 (6月末現在)

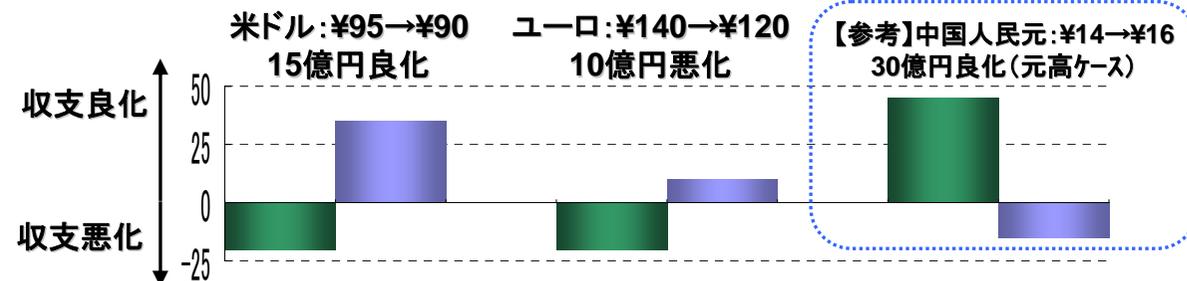


主要為替変動の収支影響

(年度営業損益ベースの理論値、ヘッジ効果込み)

収入 (増+表記, 減-表記)

費用 (減+表記, 増-表記)



Ⅱ. 補足資料



Intentionally Blank

国際旅客 方面別実績

		第1四半期 構成比 1Q Composition	増減 Change
旅客収入 Revenue	北米 North America	29.6	△ 0.5
	欧州 Europe	19.4	△ 4.8
	中国 China	29.3	+ 4.9
	アジア Asia	18.8	+ 0.1
	リゾート Resort	2.9	+ 0.2
座席キロ ASK	北米 North America	31.5	△ 0.6
	欧州 Europe	19.7	△ 2.4
	中国 China	22.8	+ 0.7
	アジア Asia	20.8	+ 0.8
	リゾート Resort	5.1	+ 1.5
旅客キロ RPK	北米 North America	32.5	△ 0.9
	欧州 Europe	20.1	△ 4.7
	中国 China	21.4	+ 4.1
	アジア Asia	20.7	+ 0.2
	リゾート Resort	5.4	+ 1.2

国際貨物 方面別実績

	第1四半期 構成比 1Q Composition	増減 Change
貨物収入 Revenue	北米 North America	24.3 Δ 1.4
	欧州 Europe	13.9 Δ 0.1
	中国 China	37.0 + 1.3
	アジア Asia	17.7 Δ 0.3
	その他 Others	7.1 + 0.4
有効貨物トンキロ ATK	北米 North America	35.3 Δ 4.3
	欧州 Europe	16.8 + 0.4
	中国 China	22.0 + 0.9
	アジア Asia	18.3 + 0.9
	その他 Others	7.5 + 2.1
有償貨物トンキロ RTK	北米 North America	37.4 Δ 4.1
	欧州 Europe	20.2 + 0.5
	中国 China	18.7 + 1.4
	アジア Asia	16.3 + 0.7
	その他 Others	7.4 + 1.4

運用航空機数

	前年度末 Mar,2010	当期末 Jun,2010	増減 Change	保有機数 Owned	リース機数 Leased
大型機 Wide-Body	Boeing 747-400 (International)	3	-	0	3
	Boeing 747-400 (Domestic)	10	-	10	0
	Boeing 777-300ER	14	+3	14	3
	Boeing 777-300	7	-	7	0
	Boeing 777-200ER	7	-	4	3
	Boeing 777-200	16	-	14	2
中型機 Mid-Body	Boeing 767-300ER	19	-	8	11
	Boeing 767-300	32	-	32	0
	Boeing 767-300F	4	-	0	4
	Boeing 767-300BCF	5	-	5	0
小型機 Narrow-Body	Airbus A320-200 (International)	5	-	0	5
	Airbus A320-200 (Domestic)	24	-	15	9
	Boeing 737-800	8	-	8	0
	Boeing 737-700ER	2	-	2	0
	Boeing 737-700	16	-	12	4
	Boeing 737-500	19	-	10	9
リージョナル機 Regional	Bombardier DHC-8-400 (Q400)	14	-	1	13
	Bombardier DHC-8-300 (Q300)	5	-	1	4
合計 Total	210	213	+3	143	70

Intentionally Blank

ANAグループの目指すもの

グループ経営理念

— 私たちのコミットメント —
 ANAグループは、「安心」と「信頼」を基礎に

- 価値ある時間と空間を創造します
- いつも身近な存在であり続けます
- 世界の人々に「夢」と「感動」を届けます

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である。
 私たちはお互いの理解と信頼の
 確かなしくみで安全を高めていきます

私たちは一人ひとりの責任ある
 誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、航空運送を中核に、
 世界の旅客・貨物輸送を担う、アジア
 を代表する企業グループを目指す。

アジアを代表するとは、

- ・クオリティで一番
- ・顧客満足で一番
- ・価値創造で一番

となることである。

ご清聴ありがとうございました。

Thank you.

当資料はホームページでもご覧いただけます。

This material is available on our website.

<http://www.ana.co.jp>

[日本語] IR情報 → IR資料室



全日本空輸株式会社 IR推進室

電話番号 03(6735)1030(代) FAX 03(6735)1185 メールアドレス ir@ana.co.jp